

平成23年度コベネフィットCDM採択事業の概要

事業名	マレーシア国における閉鎖処分場のメタンガス排出削減に伴う環境改善事業		
代表事業者	名称	東急建設株式会社 代表取締役 飯塚 恒生 渋谷区渋谷1-16-14	
事業の主たる実施場所	名称 所在地	Pulau Burung 処分場 マレーシア国ペナン州スプランプライ市	
事業費等	事業期間	事業費	補助金交付額
	2011～12年度	307,794千円	153,897千円
温室効果ガス排出総削減見込量	374,247 CO ₂ トン(2013年～2019年の7年間)		
事業概要	<p>嫌気的狀態にある廃棄物処分場に対して、通気管（ガス抜きパイプ）および排水管（水平）を設置し、廃棄物の分解過程を準好氣的に改善することでGHG発生低減および排出水の水質改善を図る。</p> <p>規模</p> <p>名称 : Pulau Burung 処分場</p> <p>埋立処分開始 : 2008年</p> <p>埋立処分終了 : 2012年</p> <p>面積 : 19.5ha</p> <p>埋立量 : 1200トン/日(年間438,000トン) 処分場全体 2,190,000トン</p> <p>年間稼働 : 365日</p> <p>廃棄物性状 : 都市ごみ</p> <p>処分方式 : オープンダンピング方式、 一層埋立厚 : 5m、覆土 : 0.5m</p>		
その他の効果等	<p>通気管設置等により、廃棄物の分解過程が嫌氣的狀態から準好氣的狀態に改善されることで、廃棄物の分解が好氣的狀況下で進むため、次の効果が見込まれる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄物処分場からのCH₄やH₂S(硫化水素)などのガス発生量が削減される。 ・ 爆発の危険性や有毒ガス発生危険性がなくなる。 ・ 浸出水の排水も促進されるため、好氣的領域が拡大し、廃棄物の分解が促進されるとともに、浸出水の周辺環境への影響が軽減される。 ・ 廃棄物処分場の安全閉鎖が早期に実現できる。 ・ 分解が早期に終了し、また、改善のために大規模な設備等を設置しないため、埋立跡地の早期活用が可能となる。 		

※この事業は、平成20年度にコベネフィット型対策のモデル事業として採択されましたが、平成22年度に事業の廃止を行っております。